

連携医院のご紹介

今回はご夫婦二人で、地域の幅広い年齢層の方が気軽に診察や相談できるホームドクターを目指しておられる津丸内科医院の津丸周三院長、恭子副院長です。



津丸院長と副院長

医療法人とまと会 津丸内科医院

〒736-0085
広島市安芸区矢野西4丁目1-17
電話/082-888-4561
院長/津丸 周三
診療科目/胃腸科・循環器科・小児科



○いつ開業されましたか。

利便性が良く人口が増加している出身地に、昭和60年に開業し、約30年が経ちました。医療法人名は、可愛いからという理由で「とまと」としましたが、皆に覚えて貰い易いので大変良かったです。

○開業されてから今までのことを教えてください。

開業当時は院長が主に消化器内科、副院長が循環器内科、小児科を診察していました。しかし、長年通院されている患者さんの中には糖尿病や高血圧などの生活習慣病をはじめ、様々な病気をかかえた方がおられるので、今は幅広く病気を診るホームドクターとして診察しています。

○毎日の診察で大切にされていることは何ですか。

患者さんの病状を見極める事です。外来治療を続けたほうが良いか、他病院へ紹介したほうが良いかを判断することが大切です。もちろん、患者さんが希望されればセカンドオピニオンや他病院への紹介もしています。

○開業医のやりがいは何ですか。

長く診させて頂けることです。時には3世代にわたって診させてもらう事もあり、喜びでもあります。患者さんと共に年を重ね共に健康寿命が延びるように頑張りたいです。

○県病院に一言。

県病院は近くて、利便性が良い地域の中核的な病院です。また、紹介を快く受け入れてくれるので、患者さんが先進医療を希望されると紹介しています。



津丸内科医院外観

【取材後記】

両先生は同級生で、インタビュー中もお二人は笑顔でなかなか雰囲気「二人で診察するから続けられる」と言われ、信頼関係が強いと感じました。

県立広島病院からのお知らせ

緩和ケア 看護師研修 基礎コース

- 開催日 平成28年 6月28日(火)・29日(水)の2日間
- 時間 9:00~16:30
- 場所 新東棟2階 総合研修室
- 申込期間 平成28年5月17日(火)~5月31日(火)必着
- 参加費 5,000円(資料代)
- 対象 次の要件をすべて満たす者
 - ①県内の医療機関等に勤務する保健師、助産師、看護師、准看護師
 - ②現在緩和ケアに携わっている者、又は、近い将来緩和ケアに携わりたいと希望する臨床経験年数3年以上の者
 - ③全課程(2日間)をすべて出席できる者

問合せ先 広島県緩和ケア支援センター 緩和ケア支援室

※詳細は『広島がんネット』ホームページでご確認下さい。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>

患者さんへ 紹介状 持参のお願い

初診時に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,690円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約患者さんを優先して診察しています。予約されずに受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。



医療機関の方へ 診察予約 のお願い

患者さんを紹介する際には地域連携センターを通じての診察予約をお願いします。選定療養費の負担もなく、待ち時間も短く、患者さんへのご負担が少なく済みます。ご協力をお願いいたします。



もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

Contents

- ようこそがんサロンへ ●小児感覚器科設立 10年
- インターベンションって何? ●外科医の独り言(脂肪肝)
- 正面ロータリーを使いやすくしました! ●連携医院のご紹介(津丸内科医院)

ようこそがんサロンへ

臨手紙教室



当院では患者さんとそのご家族が、療養上の悩みを話し、情報交換ができる場として、気軽に立ち寄れる『がんサロン』を開催しています。

ピアノとチェロのコンサート



ボランティアさんにアドバイスをもらいながら、素敵な作品ができました。

栄養と食事の教室



試食もあり、おいしく、楽しく学べます。

ヨガ教室



体を動かして、体も心もリラックス!!

開催日程は
当院配布チラシ
及びHPで

患者さん(悪性腫瘍(がん))
及びそのご家族の方が
ご参加いただけます

交流会でお茶を
飲みながら
語いませんか?

毎月1回
新東棟2階
総合研修室
または ラウンジ

心地良い音色に
癒されました。

小児感覚器科

設立10年

主任部長 益田 慎

10年を記念した冊子



◆小児感覚器科とは

目が見える、耳が聞こえるということは眼球や耳だけに問題がなければよい訳ではありません。見える・聞こえるためには眼球や耳はもちろんのこと、目や耳から脳へと繋がる神経や脳自体に異常がないことも必要です。

当院の小児感覚器科では、お子さんの「聞こえにくい」「ことばが遅い」「発音が悪い」「みえにくい」「視野がせまい」といった訴えに対応する診療科で、言語聴覚部門と視覚部門に分かれています。独立した診療科としては全国的にも例のない診療科で、この度、設立10年目を迎えました。

言語聴覚部門

「ことばの遅れ」「発音の異常」の主訴から、将来的に字が読めない、文法構造が理解できないなどの学習障害に進展することが予想される未就学児の言語発達障害の診断と言語療法を積極的に行っています。

言語療法は言語聴覚士3名が実施しています。

また新生児聴覚検査、3歳児健診で難聴が疑われたお子さん、その他の理由で難聴が疑われたお子さんの聴力診断と聴覚管理を行っています。

新生児聴覚検査については、精密聴力検査機関として、日本耳鼻咽喉科学会より認定されています。

一人一人のお子さんの特性をきめ細やかに把握するために、診察時間は初診で40分、再診で20～90分を要します。このため初診、再診ともに完全予約制で診療をしています。

視覚部門

未熟児網膜症の定期検査を、週2回（月・木曜日、午前11時受付）実施しています。

また、通常の外来では検査困難なお子さんや特殊検査を要するお子さんの検査・診察を予約制で行っています。

視能訓練士3名とともに、その他の様々な検査や訓練を実施しています。

お子様の「聞こえにくそう」「言葉が遅い」「発音がおかしい」等、感じられる場合は、かかりつけ医に相談され、診療予約のうえ受診してください。



診療中の益田主任部長

インターベンションって何？

河野 弘樹・藤田 真弓

インターベンション治療とは、カテーテルを用いた治療のことです。外科的手術を行うことなく、足の付け根や手首などからカテーテルと呼ばれる管を血管内に挿入して病気のある場所だけを治療する、患者さんの身体への負担を最小限に抑えることができる治療方法です。

インターベンションエキスパートナース（INE）は、インターベンション治療・検査に関する専門知識と技術を持っているスペシャリストに対して認定される資格です。治療の進行をモニタリングしながら次に必要となる物を予測して準備したり、患者さんへの薬剤投与や異常の早期発見・対応などを行いながら検査中の看護を行っており、当院には2名のINEが在籍しています。この治療は日々進歩しており、INEの知識とスキルが必要とされる場面が多くなってきています。特に心臓血管の疾患においてはカテーテル治療・検査の増加に伴い、INEへのニーズも高くなっています。患者さんの不安や緊張が少しでも和らぐよう、援助できたらと思っております。



CT室にて

外科医の独り言 no.56

— 脂肪肝 —

先日ある開業医の先生から「先生のおの『もみじ（外科医の独り言）』は、まとめて書いて小出しにしているのでしょ？」と言われてましたが、私にそんな器用なことはできません。第1回からそのスタンスに変わりなく、原稿の締め切り間近になって何を書こうかと思いを巡らせますがなかなかテーマが決まりません。書くことが決まれば30分で書けるのですが、書き始めるまでが難産です。

今も隣で妻が「昔の事ばかり書いてるよね、最近、書くことがなくなったの？」と話しかけてきます。余計なお世話です。この原稿を書こうとしているちょうど今は花見の時期です。今回は「酒」。そう私も含めて酒飲みが気になる？気にしていないかもしれない「脂肪肝」の話にします。

脂肪肝の原因はカロリーの過剰摂取、慢性的な運動不足、糖尿病そしてアルコールそのものが原因となります。脂肪肝は肝臓の細胞に脂肪、特に中性脂肪がたまった状態です。フォアグラは本当に極端な脂肪肝ですが、ヒトの脂肪肝は程度の差はありますが見た目にも白っぽいあざき色です。肝臓から出ていく脂肪（体にエネルギーとして供給される）よりも肝臓に取り込まれる脂肪が多いと肝臓に脂肪が溜まります。お金はなかなか溜まりませんが肝細胞の脂肪はちょっと油断するとすぐに溜まります。

1日のアルコールの適量は日本酒なら1合、ビールなら大瓶1本、焼酎ならお湯割り（6：4）1杯、ワインならグラスワイン1.5杯と言われていますが、結構いい加減です。日本酒一つをとっても銘柄によってアルコール度数が違います。

1合とは言っても、升になみなみとついでこぼれたお酒を飲んでしまうと1合をはるかに超えます。焼酎だって薄め方によって摂取アルコール量が変わります。それでも自宅で毎日決まった量だけ晩酌される方は大丈夫だと思います。飲む前に1杯だけ、あるいは2杯までと飲

む量を決めることができますし、飲みすぎを注意してくれる人が、そばにいるかもしれません。

しかし流川に飲みに出てしまうと「今、（アルコールに換算して）何g飲んだから、あと何gは大丈夫」とか計算して飲めるはずもなく、計算できるほど酔いで頭は回っていません。むしろ、まだ60gには達していないと自分に都合よく計算するかもしれません。お店の人も「60g超えましたよ」と注意してくれるはずありません。まあ、そうはいつもお金が続かないので、毎日流川で飲める人はそうはいません。飲みすぎると普通は次の日は酒を見たくもありません。

さて、本論に入りますが大量の飲酒（アルコール）がなぜ脂肪肝につながるのでしょうか？アルコール自体はそんなにカロリーが高くありません。日本酒を3合飲んで400kcalそこそこです。唐揚げ弁当の2分の1です。もちろんお酒だけではなくつまみも食べるわけですから全体的に少ないカロリーというわけではありませんが、実はアルコールは肝臓で代謝されると中性脂肪の材料になります。また、アルコールが肝臓で代謝されている間は体内の脂肪が燃えにくくなります。そのため燃えない過剰になった脂肪は肝臓に貯蓄されてしまうのです。

もう一つ問題があります。皆さんも経験があると思いますが、飲酒した後にお腹がすきませんか？帰りにラーメンやお好み焼きを食べたくありませんか？実はお酒を飲むと肝臓からブドウ糖の放出が抑えられて血糖値が上がりにくくなり空腹感を憶えるのです。この誘惑に負けてしまうと取り返しのつかないカロリーオーバーになってしまいます。ここまでわかっていながらその誘惑に負けてしまい後悔したことが何度あったことか…。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長)板本 敏行(いたもと としゆき)

正面ロータリーを使いやすくしました!

当院の正面前ロータリー改良工事が3月に完了いたしました。工事期間中は大変ご迷惑とご不便をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。植え込みをなくし、車道を広くしたことにより、車を円滑に誘導し、正面玄関の車の乗り降りがしやすくなりました。



手前側は救急車専用、2列目送迎用、3列目は駐車場行きです